

南山大学人類学研究所

2018年度4回公開シンポジウム(公募シンポジウム)

遺跡に見る在来知

モニュメント、自然環境、インターアクション

日時

2018年 12月 26日 (水) 13:00~17:30

会場

南山大学 S棟 4階 S46教室

名城線八事日赤駅より徒歩8分

入場無料
予約不要



プログラム



「なぜ古代人はピラミッドを造ったか：メキシコ中央高原における都市の盛衰」
嘉幡茂（ラス・アメリカス・プエブラ大学／京都外国語大学）
フリエタ・M.=ロペス・J.（京都外国語大学／メキシコ国立自治大学）



「神殿間のネットワークと在地性：アンデス形成期の事例」
松本雄一（山形大学）

「噴火災害をどう乗り越えたか：古代マヤ人の火山とともに生きる知恵・記憶」
市川 彰（名古屋大学高等研究院／人文学研究科）

「中央と在地社会：古代アンデス諸国家の事例」
渡部森哉（南山大学）



コメンテーター



後藤明(南山大学) 中尾央(南山大学)

アクセスマップ



お問い合わせ先

〒466-8673名古屋市昭和区山里町18南山大学人類学研究所

[Tel] 052-832-3111（代表）

[Email] ai-nu@ic.nanzan-u.ac.jp



南山大学人類学研究所

Anthropological Institute, Nanzan University